

国立ハンセン病資料館春季企画展「かすかな光をもとめて—療養所の中の盲人たちー」特別企画

ろうどく 朗読コンサート 「希いはやがて光となって」 ねが

ハンセン病療養所には、俳句や短歌、詩、小説、生活記録にいたるまで、盲人たちによる文芸作品が、多数残されています。そのどれもが、絶望から立ち上がりたいとした盲人たちが懸命に生きた証です。

今回、それらの作品を小池 保さん（元NHKアナウンサー・尚美学園大学教授）と宴堂 裕子さん（俳優）の朗読、渥美 知世さん（演奏家・作曲家）のアコーディオン演奏とともに味わうコンサートを開催いたします。みなさま、お誘いあわせの上、ご来場ください。



小池 保 さん



宴堂 裕子 さん



渥美 知世 さん

【出演者からのメッセージ】

ハンセン病と闘い、遂に盲目となった人たちは、切なる希（ねが）いを ともしび として絶望の淵からはい上がり、やがて自らが光となって、さまざまな表現を花のようになぎ倒されました。私たちはそこに、コスモスのイメージを重ねます。強い雨と風になぎ倒され、それでも花首を光に向かって持ち上げてゆく「コスモス」は、同時に「宇宙」という意味も持つことばでもあります。自らの力をふりしぶって立ち上がり、自らの精いっぱいの宇宙を開こうとする——人間の心の奥底から湧きあがる意思の尊さを、朗読と音楽によって奏でることができればと、私たちも希っています。

日時：2011年7月10日（日） 13:30～15:30（13:00 開場）

場所：国立ハンセン病資料館 1階映像ホール（東村山市青葉町4-1-13）

お問い合わせ：042-396-2909

■当日、先着順で150人まで受付けます。

入場無料

■交通 西武池袋線 清瀬駅南口下車 久米川ゆき or 所沢駅東口ゆきバスに乗り 10分
新宿線 久米川駅北口 清瀬駅南口ゆきバスに乗り 15分